



観測史上最速の梅雨明けとなりました。平年より3週間も早い梅雨明けを受け、厳しい暑さが長く続くと予報されています。1学期も残り約3週間となりました。熱中症に十分気をつけ、1学期のまとめをしっかりと頑張っていきます。



水泳学習始まる

6月5日（木）に園児・児童でプール掃除を行いました。一生懸命に磨き上げたことで、プールは見違えるほどきれいになりました。例年では6月は気温や水温がまだ低く、プールに入ることが難しい時期ですが、今年は水温・気温が実施判断基準値を超え、予定していた初日から入水することができました。園児たちは水遊びを存分に楽しみ、児童たちは意欲的に泳力向上に取り組んでいます。泳ぎ終えた後に「気持ちよかった」と満足そうな表情で教室へ戻る子どもたちの姿がとても印象的です。

PTAの皆様には、6月6日（金）の心肺蘇生法研修会にご参加いただき、ありがとうございました。当日は美方広域消防の職員の方に講師としてお越しいただきましたが、開始直前に緊急要請の連絡が入り、現場に戻られる事態が発生しました。その際にはPTAの皆様にご対応いただき、無事予定通り研修を終えることができました。緊急事態はいつどこで起こるかわかりません。救急救命行動の重要性について改めて認識するきっかけとなりました。

今後も安全に配慮しながら水泳学習を進めてまいります。また、保護者の皆様には地区水泳の安全監視をご協力、よろしくお願いいたします。



修学旅行報告会

6月25日（水）の児童集会では、修学旅行報告会が行われました。6年生が、厳島神社、宮島水族館、広島平和公園、原爆資料館、マツダミュージアムで学んだことをグループごとに発表しました。その後、一人ひとりが修学旅行で学んだこと、考えたことを発表しました。「原爆はとても恐ろしい。とても辛いので原爆や戦争はしない方がいい。戦争の恐ろしさを語り継いで



いくことが平和につながる。歴史についてよく学べた。時代の背景や作った人の思いがしっかりと残っていた。新しいことが知れ、たくさんのが知れてよかった。」等、6年生が修学旅行で得た学びを自分の言葉で表現し、堂々と発表していました。人の話をしっかり聞き取ろうとする姿勢は、広島での学びの場でも発揮されていたように感じられました。6年生の学びに対する姿勢がよく表れていた素晴らしい発表でした。



学年発表について

保護者の方に来ていただいて学年発表を行うのは、今年で3年目となります。この活動のきっかけは、子どもたちの頑張る姿や成長を、実際に保護者の方にも見てもらいたいという思いからでした。

7月2日(水)には、5年生が自然学校の報告を行います。コミュニケーションワークショップでの学びを活かし、劇を取り入れた発表を予定しています。話し合いの中では、劇に乗り気でない意見もあったようですが、話し合いの結果、劇を取り入れることが決まったそうです。集団ですので、劇表現が得意な子もいれば不得意な子もいます。私は、不得意な子も含めてみんなで力を合わせて挑戦するその過程こそが大切だと思っています。教師や仲間、家族のサポートを受けながら、不得意な子も自分なりに工夫しながら挑戦します。そして、得意な子はその力を存分に発揮して頑張ります。その頑張りを、見る人や聞く人がしっかり受け止めることで、子どもたちは何事にも前向きに取り組めるようになり、成長していくと思います。このような教育を、私は大切にしていきたいと考えています。不得意な子の頑張りをしっかり見抜き、評価すること、子どもたちは無限の可能性を持っています。挑戦しないのは簡単ですが、人がいつどこで大きく成長するかはわかりません。不得意なことにも挑戦する子どもたちに寄り添い、励まし、その頑張りを評価することに、教育の大きな意義があると感じています。ぜひ、保護者の皆さん、学年発表の参観をよろしく願いたします。

なかよし給食

6月13日(金)に、たてわり班で給食を食べる「なかよし給食」がありました。この活動には2つの目的があります。①たてわり班での給食を通じて、豊かな人間関係を育むこと。②食事のマナーや食事の仕方について考えることです。給食の配膳では、高学年の児童が下級生の模範となって行動していた姿が印象的でした。給食は地域の食材を活用し、栄養バランスがしっかり計算された実に良い食事です。食事前には給食クイズも行われ、楽しい雰囲気の中で会食を楽しむことができました。

